＜第４回議員報酬改定に係る意見交換会開催結果概要＞

１．日　時　令和８年９月１８日（金）10：32～10：57

２．場　所　議会棟大会議室

３．出席者

議　長	松倉　美加（座長）	副議長	仲山　正人
議　員	今井ひろみ	議　員	小川　陽平
議　員	佐々木　昭	議　員	相沢　晶子
議　員	北山　敬太	議　員	吉谷　　徹
議　員	渡部謙太郎	議　員	北原　偉男
議　員	岩満　順郎	議　員	大山　益巳
議　員	今野　正恵	議　員	平川美由紀
議　員	宮原　伸哉	議　員	山口　康弘
議　員	山崎　昌則	議　員	佐々木雅宏
議　員	古川　昌俊	議　員	梅尾　要一

≪事務局≫
小野寺事務局長、中村次長、石津議事課長
田村総務係長、伊藤調査係長、石嶺議事係長

４．欠席者

議　員	落野　章一	議　員	丸岡　伸幸
議　員	坂野　　智		

５．結果概要　別紙のとおり

（松倉議長）

・前回の意見交換会ではワーキングチームや議運など、小グループのメンバーで案を作成して議論を前に進める体制が必要との意見が多数あり、正副議長、議運正副委員長、事務局で整理をして提案するということになっていた

・本日は小グループの設置と、今後の議論の進め方についてご協議いただく

・はじめに協議事項１、意見交換会に係るワーキンググループの設置について事務局に説明を求める

（中村事務局次長）

・意見交換会資料をもとに協議事項１について説明

（松倉議長）

・ワーキンググループの目的、設置期間、構成員などについて意見を伺う

（北山議員）

・ワーキンググループは、どの機関の下につくのか、意見交換会の中なのか、議運の中なのか確認したい

（小野寺事務局長）

・ワーキンググループは意見交換会の枠組みの中で、議論の整理や案作成を目的とする

・全体会議で、現状維持、引き上げ、どちらでもないのそれぞれの立場で積極的な意見を述べた方に参加いただき、意見調整を通じて合意形成を図り、調査活動を含め案を作成し全体会議に提案する意味合いを持たせている。

（北山議員）

・ワーキンググループの発言の重みや責任が不明確で、単なる自由な意見交換の場になる懸念がある

・ワーキンググループ設置は議会運営委員会で決定し、メンバーも正式に人選されるべきだと考える

・議会運営委員会が設置を決め、人選後にオファーがあれば参加するつもりだったため、認識の相違がある

・他の参加者の意見も聞いて今後の進め方を検討してほしい

（松倉議長）

・これはあくまでも案であり、ご意見をお伺いしたい

（岩満議員）

・正副議長、議運正副委員長、事務局による打合せで、議会運営委員会に戻して検討すべきと発言した

・今回示されているワーキンググループ案について、メンバー人選には個人的に納得していないが、あくまで一案であると認識してもらいたい

・議会運営委員長として、今後の進め方は議会運営委員会に戻して検討すべきと考えている

（山口議員）
・議員報酬の議論は議会改革推進プランの一環で、議運の課題として認識している
・意見交換会は議運で決定され、広く意見を聞くために設置されたものと認識している
・これまでの意見交換会で各議員の意見は出尽くしており、新たな進め方を検討すべき時期に来ている
・議員報酬に関する意見を一度議運に差し戻し、議運で協議した中でワーキンググループが必要となれば設置や人選も検討すべき
・議運の委員外議員もオブザーバーとして議運に参加し発言することも可能である
（松倉議長）
・全員協議会は方向性を決めるまで設置される予定だったが、発言者が限られている現実がある
・全員協議会で意見を吸い上げられたと判断できるならば、全体会議自体を閉じることも検討できるが、皆さんの意見を伺いたい
（吉谷議員）
・小グループをつくることを、この中（意見交換会）で決める方が早いが、議運に戻したほうがよいというのであれば了承する
（佐々木昭議員）
・一度議運に戻すのはいい案だと考える
・議運の中でワーキンググループを育てて、もう一度全員に戻してもらえたらよい
（松倉議長）
・議運に差し戻すと会議の性質が変わるため、この全員協議会をどうするのか伺いたい
（渡部議員）
・座長からも事務局からも全員協議会や全体会議という言葉が出ているが、我々はあくまでも昨年 12/10 の議運で決定した意見交換会に集まっており、言葉の使い方で会議の性質が変わってくるので確認したい
（松倉議長）
・会派などの縛りに関係なく、全員で参加する意見交換会という意味合いで使っているが、全体の意見交換会ということで改める
・ある程度、皆さんの意見を集約できたとして、全体の意見交換会は閉じ、あとは議運で協議しようと思うが皆さんの意見を伺う
（宮原議員）
・議運でワーキンググループをつくることの議論になってくる
・議運の傘下にワーキンググループができるならば、意見交換会はもう必要ないと考える
（古川議員）
・議運に戻すことはやぶさかではない
・ワーキンググループを作るも作らないも議運の中での話し合いである

（松倉議長）
・ワーキンググループを作るも作らないも含めて議運に差し戻すとする理解でよろしいか。
－　一同了承　－
（松倉議長）
・皆さんの合意がとれたため、この後は議運にお願いすることになる
・全体での会はこれで最後になるため、議運に対し要望があれば皆さんから吸い上げて、議運に戻したい
（佐々木昭議員）
・議運に戻して最終的に決まったものは我々に流れてくるので、ちとせ未来クラブとしては、議運のメンバーである小川議員にお任せする
（北山議員）
・ワーキンググループを設置するか否かも含めて、議運で議論してほしい
・議員報酬の増額に賛成する議員は、額によって市民感情も変わってくることから、具体的な増額幅と実施時期を明確に提示してほしい
・具体的な増額案が提示されないと、ワーキンググループでも意見交換会と同じような議論が繰り返される可能性がある
（吉谷議員）
・現状の議運メンバーは引上げを主張する方が圧倒的に多い
・オブザーバーの発言も委員長の許可で認められているので、現状維持の方はなるべく議運に来て議論に参加してほしい
・引上げ派ばかりの議論になるのは、不公平感があり、少数意見に寄り添わない形になる恐れがある
（山口議員）
・この意見交換会は、個人の意見を発言する場だったが、議運では全ての意見をフラットな目線で協議すべき
・議運で協議した結果を、再度意見交換の場を設けて、皆さんと共有するのかも含めて協議していただきたい
（松倉議長）
・ただいま、３名の方からいただいた意見も付して議運に戻す
－　一同了承　－
（小野寺事務局長）
・本日の資料のうち協議事項１で、ワーキンググループではなく議運という決定がなされたため、協議事項２はなくなる
（松倉議長）
・以上で全体の意見交換会は終了する